

第 30 回 福島県輸血懇話会

プログラム

日 時 平成29年9月9日(土) 午後2時から
会 場 ポラリス保健看護学院メグレスホール
〒963-8501 福島県郡山市向河原 159-1
TEL 024-983-5511(代)

- 本懇話会は、医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師など輸血に関わる人ならどなたにも開かれています。
- 資料代として500円負担していただきます。※学生は無料。
- この懇話会は「日本医師会生涯教育講座(2.5単位、カリキュラムコード: 2・3・7・10)」、「(一社)日本輸血細胞治療学会認定制度各協議会」、「日臨技生涯教育研修(専門:20点)」として承認されています。

主催 福島県輸血懇話会

共催 一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会東北支部
一般社団法人 郡山医師会
福島県病院薬剤師会
公益社団法人 福島県看護協会県南支部
一般社団法人 福島県臨床検査技師会
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
株式会社イムコア
バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社

後援 一般社団法人 福島県医師会
一般社団法人 福島県薬剤師会
公益社団法人 福島県看護協会

開 会 の 辞 (14:00～14:02)

第 30 回福島県輸血懇話会 実行委員長

公益財団法人星総合病院 心臓血管外科 高橋 昌一

代表世話人挨拶 (14:02～14:05)

福島県輸血懇話会 代表世話人

地域医療機能推進機構二本松病院 院長 六角 裕一

■ 一 般 発 表

(14:05～14:45)

座 長

三春町立三春病院 中央検査科 佐久間 志津枝

寿泉堂総合病院 看護部 服部 浩全

1. 『CV ポートからの輸血で溶血性輸血副作用を呈した と思われる 1 症例』

公益財団法人星総合病院 中央検査科¹⁾ 外科²⁾

○松下志保¹⁾ 佐藤朋子¹⁾ 角田淳子¹⁾ 鈴木弘子¹⁾

村上裕子²⁾ 野水整²⁾ 斎藤武郎¹⁾

2. 『当院における輸血看護教育の効果と展望』

福島県立医科大学会津医療センター 看護部¹⁾ 臨床検査部²⁾

血液内科³⁾

○村澤宏一¹⁾ 高橋光子¹⁾ 鈴木桂子¹⁾ 渡部文彦²⁾

渡部和也²⁾ 角田三郎³⁾ 大田雅嗣³⁾

3. 『産科大量出血を機に再考した 当院の緊急輸血管理体制について』

大原総合病院臨床検査科¹⁾ 大原医療センター臨床検査科²⁾

大原総合病院産婦人科³⁾

○齋藤弓恵¹⁾ 工藤麻寿実¹⁾ 浪岡貴人¹⁾ 今野貴徳¹⁾

宮村奈美子¹⁾ 宇佐見歩唯²⁾ 小関正弘¹⁾

鈴木りか³⁾ 若木優³⁾

4. 『輸血機能評価認定制度（新 I&A 制度）受審へ向けての 院内の取り組み』

（一財）太田総合病院附属太田西ノ内病院 臨床検査部 輸血管理室¹⁾
看護部²⁾ 血液疾患センター³⁾

○橋本はるみ¹⁾ 渡辺隆幸¹⁾ 白谷泰祐¹⁾ 根本円¹⁾ 神山龍之介¹⁾
星雅子¹⁾ 石井佳代子¹⁾ 小野和恵²⁾ 永山季代子²⁾ 馬場佐知子²⁾
草野智恵子²⁾ 神林裕行^{1) 3)}

■ 特別企画 臨床病理検討会

(14:45～15:20)

座 長 公益財団法人星総合病院 循環器科 松井 佑子

『長期間の輸血後、鉄過剰症から死の転帰となった
再生不良性貧血の剖検例』

寿泉堂総合病院 血液内科 岡本 正俊

—— 休 憩 —— (15:20～15:35)

■ 特 別 講 演

(15:35～16:50)

座 長 第 30 回福島県輸血懇話会 実行委員長
公益財団法人星総合病院 心臓血管外科 高橋 昌一

『血液製剤の新しい使用ガイドライン』

名古屋大学医学部附属病院 輸血部

松下 正 先生

■ 次年度実行委員長挨拶

大原総合病院 外科 小山 善久 先生

閉 会 の 辞

第 30 回福島県輸血懇話会 副実行委員長

寿泉堂総合病院 血液内科 岡本 正俊

会場案内



所在地

福島県郡山市向河原 159-1 TEL024-983-5511 (代)

■JR 東北本線 郡山駅より徒歩 10 分

郡山駅よりバス 3 分

(3 番ポール星総合病院、まちなか循環方八町回り)

■東北自動車道 郡山 IC より車で 20 分

駐車場：お車でお越しの際は施設内駐車場をご利用ください。

* 終日診療を行っておりますので公共の交通機関のご利用をお願い致します。

《連絡先》 第30回福島県輸血懇話会事務局

星総合病院 中央検査科内

〒963-8501 福島県郡山市向河原159-1

TEL 024-983-5511 (内線5295)

FAX 024-983-5556 (検査科直通)

福島県輸血懇話会ホームページ (<http://square.umin.ac.jp/ffmt/>)